

ジョブ産雇とやま通信



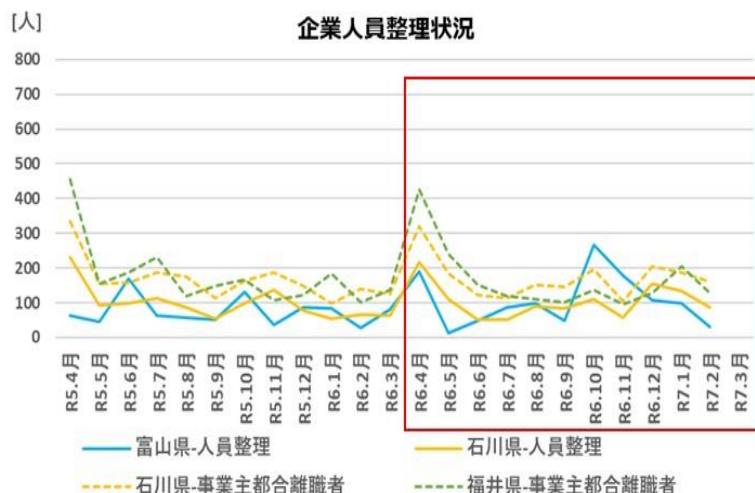
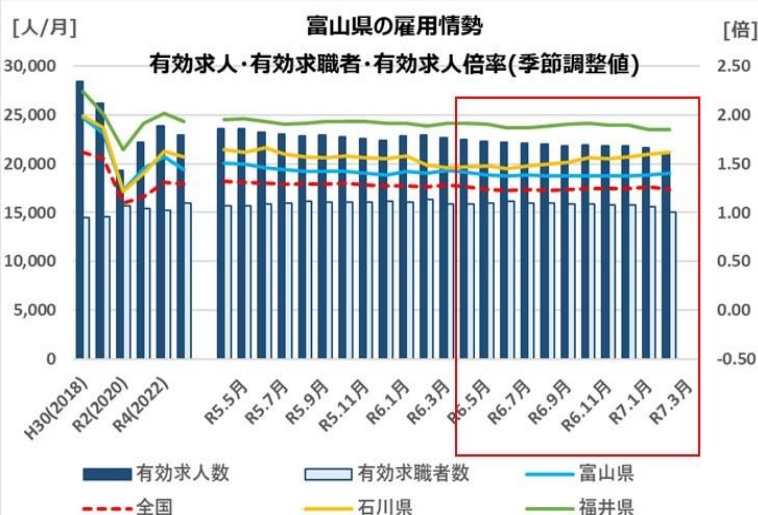
～所長挨拶～

本年度よりジョブ産雇（産業雇用安定センター）富山事務所新所長として着任しました荒木です。産業雇用安定センターの愛称が今春「ジョブ産雇」に決まり、改めて賛助会員の皆様から親しまれ、県内雇用のセーフティネット提供者として身近な存在になれるように職員一同努めて参ります。

昨年度の活動概況は、成立件数75件（前年比130%）と増加しました。要因は大きく二つあり、一つ目はシニア層の成立数が前年比約3倍に増加したことです。シニア人材バンク事業（CB）にご理解頂いた県内ハローワーク各所の協力を得て、富山・高岡・魚津にてシニア向け再就職支援相談会を昨年から実施しました。これより登録者が継続的に増加しています。一方、特に中小規模事業者様から寄せられる人材不足課題に対して、強化したい組織ニーズや若手社員の育成・教育人材としてシニア人材を広く採用頂きました。二つ目は昨年末に県内で大口送出案件が製造業（機械、電子）、介護業種等で発生し登録者が急増したことです。マッチングを大切にしながら、企業様に受入れ検討をお願いして参りました。

さて、23年秋にVol.1の発行を開始し、3ヵ月に1度お届けして参りました広報誌「産雇通信TOYAMA」は、当センターの新愛称決定を機に今回のVol.7より「ジョブ産雇とやま通信」へ改め、皆さまへ雇用に関する旬な情報を引き続きお届けして参ります。

～富山県の雇用情勢～



■雇用情勢（2024年4～2025年2月）

参照元情報データ：富山・石川・福井 各県労働局HP内雇用情勢情報等

- ・富山県は求人が求職を上回って推移しているものの、求人の動きに足踏み感があり、改善の動きに弱さがみられる(10ヵ月連続)。物価上昇が雇用に与える影響に引き続き注意する必要がある。2月の有効求人数は4ヵ月連続減少。有効求人倍率は1.40倍(全国10位、2ヵ月連続上昇)。令和6年有効求人倍率(年平均)は1.39倍であり、前年比0.07ポイント減で、2年連続の減少。
- ・石川県は求人は令和6年能登半島地震および豪雨の影響により、一部地域で弱さがみられるものの、持ち直しの動きがみられる(4ヵ月判断を維持)。2月の有効求人倍率は1.62倍(先月比+0.02ポイント、全国3位を維持)。
- ・福井県は求人が求職を大幅に上回って推移している。一方、有効求人数は22ヶ月連続の減少。有効求人倍率は1.85倍(先月比横ばい、全国1位、就業地別)。2024年10月の1.92倍をピークに漸減傾向。

■人員整理状況

- ・北陸地域で富山県は低位安定傾向が続いていたが、24年末にかけて、廃業・人員整理の大型案件が連続的に発生した。(機械加工系での人員整理、電子部品組立製造・介護・繊維系での廃業など)
- ・24年度は、物価高や深刻な人手不足などで企業を取り巻く環境は厳しさを増している。コスト負担の価格転嫁や賃上げについて、中小・零細企業への波及が遅れることになれば雇用への影響の懸念が高まる。中国市場の影響による事業縮小も散見され、今後の動向が懸念される。
- ・昨年4月に人員整理人数が増加したが、富山県については関係企業間の統合や就労継続支援事業形態の移行などによる計上のものが多く、実質的に労働市場に与える影響は少ないものであった。

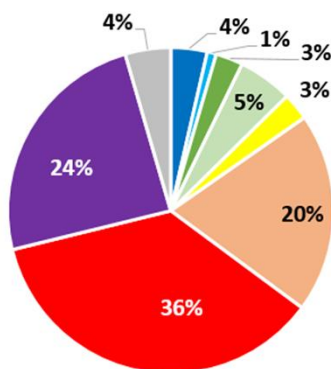
※新規求人数・製造業種別新規求人数・新規求職者数状況等の統計資料を準備しております。担当参与にお気軽にお問合せください。

～産業雇用安定センター富山事務所の活動実績～



富山事務所求職者(3月31日時点、仮登録含む)

年齢区分	総計	男	女	比率
20-29	4	2	2	4%
30-39	1	0	1	1%
40-44	3	1	2	3%
45-49	6	3	3	5%
50-54	3	3	0	3%
55-59	22	16	6	20%
60-64	40	25	15	36%
65-69	27	21	6	24%
>70	5	5	0	5%
総計	111	76	35	100%
	100%	68%	32%	



後半の大口送出案件により、60歳以上のシニア層の割合は減少中

・今年度(2024年)の結果：

<前半> 昨年1月に発生した能登半島地震による県内雇用への影響は幸い少なく、第1四半期は一昨年並みの安定した状況が続いた。第2四半期に入り、ハローワーク富山・高岡両所で毎月1回「シニアのための再就職支援相談会」等の活動を開始。CB事業の周知効果が高まり、シニア層中心に送出者が増加した。

<後半> 「シニアのための再就職支援相談会」はハローワーク魚津開催も追加して、シニア層の登録が毎月継続的に増加した。昨年後半から大きく減少した出向件数は、9月以降雇用調整型が増加し始めた。年末には、大口送出案件が製造業（機械、電子）、介護業種等で発生して登録者が急増した。年初より、賛助会員企業様、富山・高岡商工会議所会員様、高岡信用金庫様を中心に、広報紙等にて求職者情報を提供しながら求人ニーズの把握や開拓を進めた。

～愛称、公式キャラクター誕生～

job sanko
ジョブ産雇

「仕事」を表す「ジョブ」と産業雇用の「産雇（さんこ）」を組み合わせ、
『**ジョブ産雇**』です。

愛称ロゴには、「企業」と「求職者」の間に立つ「人材の橋渡し」を
虹で表現し、“企業と人をつなぐ架け橋”となり、

共に明るい未来に進んでいきましょう、という思いを込めています。

再就職、再挑戦、さまざまな再スタートの“再”の字を
「力強さのシンボル」ともいわれる動物の“サイ”とかけて、

サイ+ジョブ産雇で「サイジョブさん」。

口ぐせは「サイジョブ！」

再就職・出向で再スタートを切ろうとする人たちに、

親しみを持ってジョブ産雇をご利用いただき、

「自分らしく働けるいい仕事」を見つけることができるようサポートします、

という思いを込めています。



これからは「**ジョブ産雇です**」と
ご挨拶させていただきますので、
よろしくお願いいたします。



サイジョブさん



～バックナンバーの掲載～

ジョブ産雇(産業雇用安定センター)のHPにこれまで富山事務所が発行してきた「産雇通信-TOYAMA」が掲載されました。次のURL もしくは 2次元バーコード よりご覧になれます。

URL : https://www.sangyokoyo.or.jp/about/journal/jimusyo_katsudo.html#16

